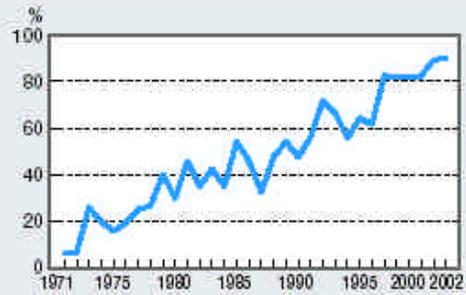
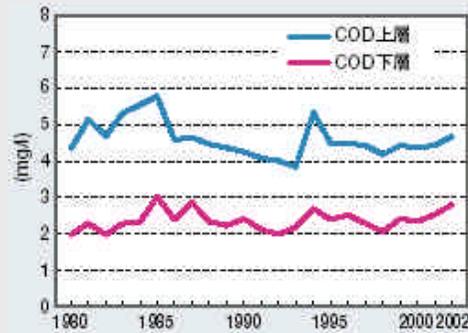


基本計画の分野		これまでの主な取組
第2節 水質の保全と水循環・水辺環境の再生	1 河川・海域における水質の改善	<p>生活排水対策 多摩地域における下水道普及率の向上（H15年度末実績：区部100%、多摩95%）</p> <p>工場・事業場対策 環境確保条例により、窒素、りんの上乗せ基準を設定し、対象となる事業所の排水規制を強化 下水の高度処理の促進及び合流式下水道の改善 ・高度処理は5箇所の水再生センターで実施(H15年度末)</p> <p>非特定汚染源対策など 環境調和型農業の推進 ・農薬や化学肥料の使用抑制、家畜糞等未利用有機資源の有効利用などにより、農業由来の汚濁負荷を低減</p> <p>自浄機能の向上 多自然型工法による河川・港湾の整備 ・水域の生育環境を確保するため、干潟機能を有する緩傾斜護岸の整備、良質土砂による護岸前面の覆土等を実施</p>
	2 水循環の再生	<p>雨水浸透・貯留 一定規模以上の揚水施設設置者に対しては、環境確保条例に基づき雨水浸透の積極的実施を指導 野川流域で雨水浸透ます設置補助事業を実施している区市に対し、補助金を交付 ・平成2年度から15年度までに、約19,000基を設置</p> <p>河川水量の確保 鉄道等のトンネルから湧出する地下水を環境用水として河川等へ導水 ・姿見の池、立会川、不忍池、渋谷川・古川、石神井川で実施 水再生センターからの高度処理水等を中小河川等に導水する清流復活事業を実施 ・城南三河川（渋谷川・古川、目黒川、呑川）、野火止用水、玉川上水、千川上水において実施</p> <p>再生水等の活用 ビルのトイレ用水、環境用水などとして供給 ・西新宿・中野坂上地区、品川駅東口地区、大崎地区、汐留地区へトイレ用水などとして供給（H15年度約7,600? /日） ・清流復活事業として城南三河川などへ供給（H15年度約111,230? /日）</p> <p>地下水の保全と地盤沈下の防止 環境確保条例、工業用水法に基づく揚水規制の実施及び揚水量の把握 地下水位及び地盤変動量のモニタリングを実施</p>

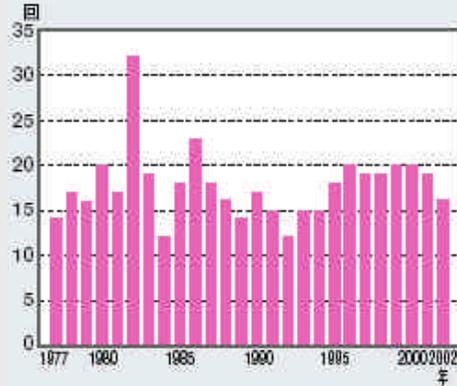
< 河川における環境基準 (BOD) 達成状況 >



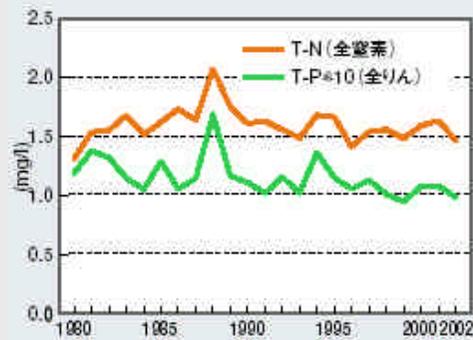
< 海域における COD の推移 >



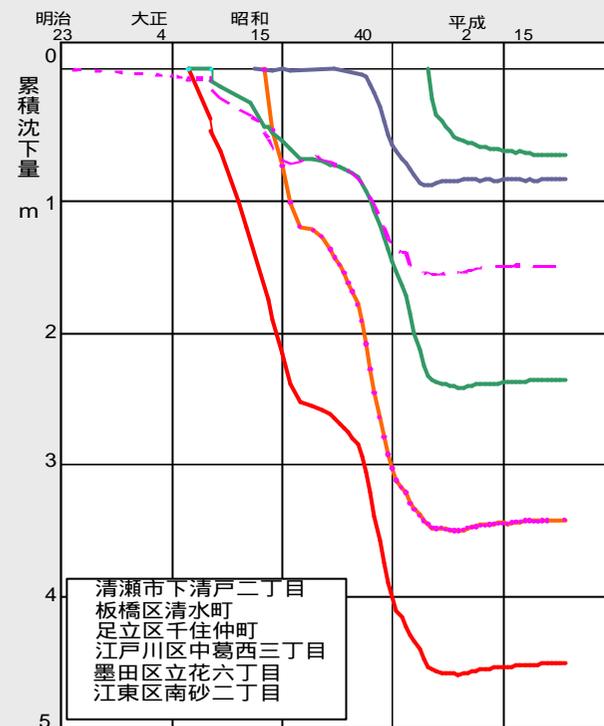
< 東京湾の赤潮発生回数の推移 >



< 海域における全窒素・全りん の推移 >

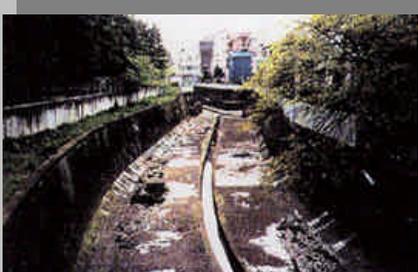


< 都内 6 地点の累積地盤沈下量 >



< 清流復活事業の例 (目黒川) >

事業前



現在



< 都内 3 地点の地下水位の変化 >

